

精華くるりんバスの総括と検証について

○目的

精華くるりんバスの実証実験としての運行開始から15年目を迎え、地域情勢が変化する中、本格運行に向け、今後は地域の実情にあった公共交通網形成のためにコミュニティバスのあり方や運行形態などについて検討を行う必要がある。

そこで、地域の実情にあった公共交通網の形成を目的として、高齢者や交通弱者の交通手段として運行する精華くるりんバスの本格運行に向け、関係者へのヒアリングや利用者へのアンケートなどを行い、専門的な知識による支援により、過去の実証の検証や地域の状況整理、利用ニーズを把握し、精華くるりんバスの総括と検証を踏まえた今後の方向性を示す。

○実施内容（案）

・アンケートの実施

住民アンケート及び精華くるりんバス利用者並びに公共施設利用者へのアンケートを実施し、バス利用者と公共施設利用者のニーズを把握し、取りまとめる。

・関係者ヒアリング

下記を対象としたヒアリングを実施し、実証運行における現状と課題、改善点等を取りまとめる。（対象：地域住民、運行事業者、公共施設利用者など）

・精華くるりんバスの総括と検証

精華くるりんバスの総括と検証にあたっては、地域住民や交通事業者の意見を踏まえ、下記について検討する。

① 運行ルート・ダイヤ・運行形態の検証

利用実績、各種調査を踏まえ、路線の分割や隣接市町村との連携も含めて運行ルート及び運行ダイヤ並びに運行形態を検討する。

② デマンド交通等、定時定路線型以外の公共交通の導入についての検証

現状公共交通の利用者数が少ない地域についても、地域としての公共交通のニーズの切迫度などを勘案し、一部地域については、定時定路線型だけでなく、デマンド交通への移行や併用等も含めて検討する。

③ 隣接市町村を含めた広域交通についての検討

住民の実際の生活圏等を考慮し、隣接市町村との連携を含めた、行政界に拘らない広域交通について検討する。

○本格運行に向けたスケジュール

令和元年度：利用状況やニーズ把握のための住民アンケートの実施

令和2年度：関係者ヒアリング、利用者アンケート、総括と検証

令和3年度：総括と検証を踏まえた本格運行に向けた準備期間

令和4年度：本格運行